

氏名：松田尚子(尾道市立高須小学校)  
現地勤務先：メルセデス・ミルトス小学校

☆平成23年4月～6月の出来事

# ¡Nos vemos!

平成23年7月 第5号

¡Hola! (オラ! : こんにちは!) みなさん、お元気ですか?

日本では7月に入って暑さが増している頃でしょうか?地球の裏側パラグアイは、冬になりとても寒いです。朝は霜が降りるような寒さですが、暖房器具はほとんどなく、凍えそうな毎日です。

日本の学校は、もうすぐ夏休み!パラグアイの学校も、7月中旬に2週間の冬休みがあります。

今回は、今年度に入っての算数の授業や講習会の様子、そして、パラグアイ独立200周年行事の様子をお伝えします。



## 1. 算数の授業(1~3年生)

パラグアイの算数教育の課題は、常に黒板を写すだけの授業だということ。それを改善するために、教材を作って授業で使ったり、子どもたちが操作活動する場面や考える場面をつくったりするよう先生たちと協力しています。



位取り板を作り、数の表す“量”が分かるようにしました。子どもたちは、これが大好きです!



棒は何本あるかな...?どうやって数えたらよいか考え、実際に数えてみました。協力して楽しく数えていました。



かけ算の表を先生と作り、授業で使ってもらいました。子どもたちは一生懸命覚えていきます。



数字カードを作り、教室に掲示しています。それを見ながら考えている1年生。

数を書いたカードを持って、小さい順に並びかえる活動。楽しそうに並んでいました!



一人一人が操作活動ができるように、位取り板を段ボール紙で作りました。自分なりに考えることに慣れてくれるといいなと思います。



## 2. 祝！独立200周年☆



今年は、パラグアイがスペインから独立してちょうど200周年です。5月14・15日の独立記念日の頃には、国中でいろいろな行事が行われました。

200周年記念のため、飾りを作り学校や通りを飾ったり、花を植えたりしました。



任地の町では各学校の児童生徒によるパレードが行われました！

200周年記念行事では、劇や朗読、ダンスなどの発表が行われました。

## 3. 算数の講習会

算数教育分野で活動する隊員で、先生たちに向けて講習会を開きました。授業の計画に関しての重要事項を講習し、低学年は「数」、高学年は「図形」をテーマにして講習と授業公開を行いました。



実際に数え棒で1000を作る体験をし、数と量感を結びつける指導について考えていただきました。

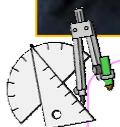
$$= 30 + 5$$



高学年の先生たち。画用紙を使って、図形の概念に沿って形作りをしました。基本的な知識をしっかりと確認！



2年生の授業は、「くり下がりのあるひき算」。子どもたちが自分で考える時間を取り入れました。



4年生の授業は、「三角形の分類」について。子どもたちは、図形を操作しながら楽しそうに考えていました。

